

幼児の自然体験型環境学習プログラム

プログラム名	森のアイテムを集めて 修行でござる	
対象年齢	年長 5歳児	
メッセージ	森の中の自然物をじっくりと見て、自然が土に返ることを知る	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 発見・体験できること 森や林の中の暗さ、湿気、土、においなど 友だちと一緒に木の実をさがす楽しさ 森の中で忍者になりきる楽しさ 	
参加者のめやす	幼児 30人	支援者 2人
実施時間	30分	
フィールド		
実施可能時期		
自然を感じるためのヒント		
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:00	<p>タラヨウの葉の手紙で導入する</p> <p>① 忍者（教師）の話聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑の葉をさがす 頭に掛けて変身 木からパワーをもらう 	<p>「〇〇じんじゃへいけ」</p> <ul style="list-style-type: none"> タラヨウ：表面に傷をつけると跡が残る葉っぱ。昔は郵便の替わりに使われた。 日ごろから遊んでいる忍者を取り入れる事で、興味を持って、話が聞けるようにする。 落ち葉が多い環境の中で、緑の葉を取り上げる事で、じっくりと見られるようにする。 葉を頭に掛けて、忍者になりきり楽しめるようにする。
0:05	<p>② クモ男登場</p> <p>「しゅりけんが必要だ」</p> <ul style="list-style-type: none"> つばきの実をさがす。 見つけた人から3人組になれば、黒い布をもらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2種類用意して、子どもが選べるようにする。

時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:20	<p>③ 親忍者倒れる</p> <p>しゅりけんにして、クモ男に投げる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが何を楽しんでいるかを見ながら、じっくりと下の地面を見られるように、目を向けるような言葉をかける。 森の中の土のにおい、様子を感じられるような声をかける。 教師がなりきる事で、子どもが遊びの楽しさ意欲を感じるようにする。 クモ男の高さを変化させ、遊びの楽しい雰囲気をつくる。
0:30	<p>④ クモ男が落ちる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 虫、木の実も土に戻っていくことを伝える。ビニール、不織布はどうか考えさせる。 その時のにおいに気づく。
<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4歳児と一緒に同じプログラムをやってみる。（異年齢とのプログラム） ツバキやどんぐりの実を持ち帰り、製作活動へつなげる。 神社のイメージで、運動遊びを行う（修行遊び）。 新たな展開でストーリーを考え、日常の保育につなげる。 <p>・保護者からの「〇〇神社っていい所なんですね」という言葉を受けて、家族で身近な公園へ出かけて木の実で遊んでみるように促す。</p>		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> 黒の不織布10枚 クモ男 スモックを着る 	黒ビニール袋10枚